

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

一般会計

事務事業番号	款	項	目	担当部署	事業の評価	ページ
	事業名					
	諸支出金	基金費	財政調整基金積立金			
12020101	財政調整基金積立金			財政課	A	435
	諸支出金	基金費	減債基金積立金			
12020201	減債基金積立金			財政課	A	436
	諸支出金	基金費	公共施設整備基金積立金			
12020301	公共施設整備基金積立金			財政課	A	437
	諸支出金	基金費	総合戦略推進基金積立金			
12020401	総合戦略推進基金積立金			政策推進課	A	438


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 01財政調整基金積立金

事務事業番号 12020101

事業名		財政調整基金積立金		担当部署	財政部 財政課		
根拠法令		地方自治法第241条、苫小牧市財政調整基金条例					
令和4年度決算額		1,354,672	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	14,913	千円				
	一般財源	1,339,759	千円				
事業費（総計）		1,354,708	千円				
決算額		1,354,672	千円				
人件費		36	千円				
事業の目的		財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>令和3年度末基金残高 3,974,133,829円 令和4年度基金積立金 1,354,672,250円 令和4年度基金取崩し額 1,085,910,580円（出納整理期間中含む。） 令和4年度末基金残高 4,242,895,499円</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		基金の年度末残高		千円	4,242,895	3,974,134	3,564,428
項目評価		高→低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				財政基盤安定化計画のもと、標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高を維持しており、財政の健全な運営を図っています。	
効率性		●				基金管理として適当な人工で目的が達成されています。	
公平性		●				特定の受益者を対象とした事業ではありません。	
将来性		●				安定的で柔軟性のある財政運営のために現状の残高を確保していく必要があります。	
総合評価		A				今後も安定的で柔軟性のある財政運営を図ってまいります。	
特記事項		令和4年度末の基金残高については目標額を確保できましたが、令和5年度当初予算の財源対策などで約12.4億円の取崩しを見込んでいるため、差し引くと、実質は約30億円の残高となります。					


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費


目 02減債基金積立金

事務事業番号 12020201

事業名		減債基金積立金		担当部署	財政部 財政課						
根拠法令		地方自治法第241条、苫小牧市減債基金条例									
令和4年度決算額	423,334	千円	項目評価				総合評価 A				
財源内訳	国道支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	23,334 千円									
	一般財源	400,000 千円									
事業費（総計）	423,370	千円									
決算額	423,334	千円									
人件費	36	千円									
事業の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。										
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>令和3年度末基金残高 2,852,207,615円 令和4年度基金積立金 423,333,532円 令和4年度基金取崩し額 0円（出納整理期間中を含む。） 令和4年度末基金残高 3,275,541,147円</p>										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度				
	基金の年度末残高			千円	3,275,541	2,852,208	2,188,876				
項目評価	高→低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							令和4年度末の基金残高は令和3年度末と比較して約4.2億円の増加となり、将来への備えとして事業の目的を達成しています。		
	効率性	●							基金管理として適当な人工で目的が達成されています。		
公平性	●				特定の受益者を対象とした事業ではありません。						
将来性	●				経済事情の変動等による財源不足や市債の償還額が多額となる場合等に備えて積み立てています。						
総合評価	A				今後も市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営を図ってまいります。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金 項 02基金費 目 03公共施設整備基金積立金 事務事業番号 12020301

事業名		公共施設整備基金積立金		担当部署	財政部 財政課						
根拠法令		地方自治法第241条、苫小牧市公共施設整備基金条例									
令和4年度決算額	11,106	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	11,106	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）	11,142	千円									
決算額	11,106	千円									
人件費	36	千円									
事業の目的	施設の整備に要する経費の財源に充てるため、予算で定める額を基金に積み立てます。										
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>令和3年度末基金残高 2,518,468,857円 令和4年度基金積立金 11,106,111円 令和4年度基金取崩し額 0円（出納整理期間中を含む。） 令和4年度末基金残高 2,529,574,968円</p>										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	基金の年度末残高		千円	2,529,575	2,518,469	2,134,922					
項目評価	高→低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							施設整備に要する経費の財源として活用し、基金残高は前年と比べ約0.1億円の増加となり、財政基盤安定化計画に定める基金残高は維持しており、将来への備えとして事業の目的を達成しています。		
	効率性	●							基金管理として適当な人工で目的が達成されています。		
	公平性	●							特定の受益者を対象とした事業ではありません。		
将来性	●				老朽化した公共施設の更新や整備に備えて積み立てています。						
総合評価	A				今後も公共施設の更新や整備に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営を図ってまいります。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金 項 02基金費 目 04総合戦略推進基金積立金 事務事業番号 12020401

事業名		総合戦略推進基金積立金		担当部署	総合政策部 政策推進課						
根拠法令		苫小牧市総合戦略推進基金条例									
令和4年度決算額	691,537	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	691,537	千円								
	一般財源	千円									
事業費（総計）	691,890	千円									
決算額	691,537	千円									
人件費	353	千円									
事業の目的	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により定める苫小牧市総合戦略の推進に要する経費の財源に充てるため基金を設置しています。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>令和3年度末基金残高 441,612,121円 令和4年度基金積立金 691,536,758円（出納整理期間中の積立分22,140,573円を含む。） 令和4年度基金取崩し額 292,389,356円 令和4年度末基金残高 840,759,523円</p>										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	基金の年度末残高		千円	840,760	441,612	378,010					
項目評価	高 → 低			評価の理由							
	4	3	2				1				
	有効性	●							寄附金額の増加により、今まで以上に総合戦略に掲げる事業費に充当することができたため「4」としました。		
	効率性	●							最小限の費用で、効率的な運用ができたため「4」としました。		
	公平性	●							寄附金を、寄附者が指定した使い道に充当することができたため「4」としました。		
将来性	●				事業を推進することにより、総合戦略推進を図ることができるため「4」としました。						
総合評価	A			今後も基金の適切な管理に努め、総合戦略推進を図るため継続的に実施していきます。							
特記事項											